

令和7年8月18日配信

文部科学記者会・科学記者会 加盟社 各位

文部科学省広報室・大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 主催

メディア懇談会 開催のお知らせ

文部科学省広報室と大学共同利用機関法人 人間文化研究機構は、文部科学記者会・科学記者会加盟社の記者の方々をお招きし、人間文化研究の最先端の研究をご紹介しますメディア懇談会を開催します。

【開催概要】

日時：令和7年9月5日（金）14：00～16：00（13：45～受付開始）

場所：文部科学省12階 記者会見室（※オンライン配信はありません）

申込方法：下記フォームから【9月4日（木）午前9時】までにお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/BPLKmk8kEz>

プログラム：

14：10 研究者トーク …人間文化研究機構の研究者が6名発表を行います。

15：40 質疑応答・懇談 …自由に懇談可能です。発表者以外の研究者ともお話しいただけます。

16：00 終了予定

▼申込フォーム

文部科学省広報室・人間文化研究機構主催 メディア懇談会2025.9.5



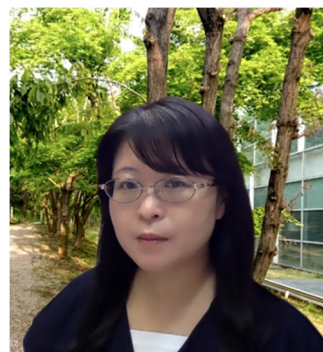
【研究者トーク登壇者】 若手からベテランまで、6名の研究者が多様な研究活動を紹介します。



国立歴史民俗博物館
澤田 和人 准教授



国文学研究資料館
多田 蔵人 准教授



国立国語研究所
小磯 花絵 副所長



国際日本文化研究センター
太田 奈名子 准教授



総合地球環境学研究所
渡邊 剛 准教授



国立民族学博物館
小野 林太郎 教授

● 研究者トーク 登壇者紹介

国立歴史民俗博物館（歴博）

氏名 澤田 和人 准教授
発表テーマ 博物館型研究統合の1事例—令和7年度企画展示「野村正治郎とジャポニスムの時代—着物を世界に広げた人物」について
専門分野 染織史、服飾史
プロフィール 1998年、文学修士（大阪大学）取得、2002年より国立歴史民俗博物館・助手、2009年より現職。主要研究課題は、中世から近代までの染織および服飾・衣装風俗に関する研究、野村正治郎に関する研究。10月28日より開催の企画展示「野村正治郎とジャポニスムの時代—着物を世界に広げた人物」では、展示プロジェクト委員の代表を務める。



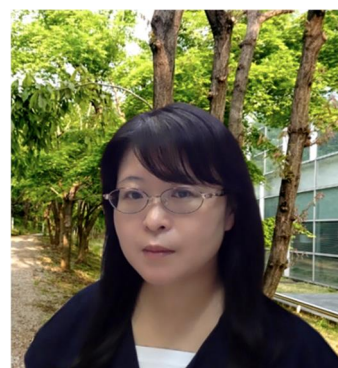
国文学研究資料館（国文研）

氏名 多田 蔵人 准教授
発表テーマ 自筆資料の横断的調査にもとづく「日本語文学の創作過程」の解明
専門分野 日本近代文学における「引用」の研究
プロフィール 1983年生れ。東京大学人文社会系研究科終了。博士（文学）。鹿児島大学法文学部を経て、国文学研究資料館准教授。
永井荷風の江戸受容から出発し、近代日本文学における「文体」の歴史について研究している。著書『永井荷風』（2017、東京大学出版会）、編著『荷風追想』（2020、岩波書店）、『文体史零年 近代文例集が映す文学のスタイル』（2025、文学通信）。



国立国語研究所（国語研）

氏名 小磯 花絵 副所長
発表テーマ 多世代会話コーパスに基づく話し言葉の総合的研究
専門分野 コーパス言語学、談話分析
プロフィール 1998年奈良先端科学技術大学院大学博士後期過程修了、博士（理学）。ATR 知能映像通信研究所研修研究員を経て現職。研究所では『日本語話し言葉コーパス』『日本語日常会話コーパス』などの言語資源の構築とそれを活用した研究に従事。著作に『やさしい社会をみんなで創るために：コミュニケーション共生科学への誘い』（共著、文学通信、2025）など。



国際日本文化研究センター（日文研）

氏名 太田 奈名子 准教授
発表テーマ 女性の声から聴こえる日本ー 占領期ラジオ放送から現代ポッドキャストまでー
専門分野 メディア史
プロフィール アメリカの高校・大学を卒業後、2020年3月東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了、博士（学術）。東京大学非常勤講師、清泉女子大学専任講師等を経て、2024年7月より現職。日本のラジオ放送、近現代日本のメディアと言語、デジタルアーカイブの教育活用といったテーマを中心に、学術知の社会還元を念頭に置いて研究を遂行している。



総合地球環境学研究所（地球研）

氏名 渡邊 剛 准教授
発表テーマ サンゴ礁研究とアートを融合する 喜界島や万博での取り組み
専門分野 地球環境学
プロフィール 北海道大学理学部卒業・北海道大学地球環境科学院博士課程修了。現在、北海道大学理学研究院講師、喜界島サンゴ礁科学研究所理事長、総合地球環境学研究所准教授。専門はサンゴ礁地球環境学。国内外に散らばる仲間と世界のサンゴ礁に出没し地球環境の謎に挑んできたが、近年はヒトに興味を持ち始め、ヒトと自然の関係性について探究を行なっている。



国立民族学博物館（民博）

氏名 小野 林太郎 教授
発表テーマ 海を越えた人類の移住と舟
専門分野 海洋考古学、東南アジア・オセアニア人類学
プロフィール 熱帯島嶼における旧石器時代から歴史時代までの様々な遺跡や水中遺跡を対象とした研究を行っている。主な研究テーマは、人類による海洋適応や島嶼移住の歴史。
主な著書は、『モノからみる海域アジアとオセアニアー海辺の暮らしと精神文化』（風響社、2024）、『島世界の葬墓制ー琉球・東南アジア・オセアニア』（雄山閣、2024）など多数。



Press Release

● 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構とは

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構(略称：人文機構)は、4つの大学共同利用機関法人のうちの1つであり、人間文化研究にかかわる6つの大学共同利用機関(国立歴史民俗博物館・国文学研究資料館・国立国語研究所・国際日本文化研究センター・総合地球環境学研究所・国立民族学博物館)で構成されています。人文機構は、機構内の機関や機構外の大学等をつなぎ、人間文化研究に関する唯一の大学共同利用機関法人として、人間文化に関わる総合的学術研究・発信に取り組んでいます。



▼申込フォーム

● 申込・問合せについて

参加申込は、前日9月4日(木) 午前9時までに下記フォームからお申込みください。

<https://forms.office.com/r/BPLKMk8kEz>



※文部科学記者会・科学記者会加盟社の記者の方であればどなたでもお申込みいただけます。

本件に関するご質問等については、下記担当宛にお問い合わせください。

本件に関する問い合わせ先	
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構	TEL 03-6402-9234, 9343
本部事務局研究企画課 広報・社会連携係	FAX 03-6402-9240
担当：木村・松浦	E-mail koho@nihu.jp